

あけまして おめでとうございませう



仙北市議会議長 青柳宗五郎

先の統一地方選挙では、町村の議員選挙のうち、約22%が無投票当選となりました。ある村では、議員のなり手不足から、有権者が予算などの議案を直接審議する「〳村総会〴」の設置を検討する」という、村長発言が波紋を呼んでいます。

無投票となったある議会では、その危機感から、住民にアンケートを行ったところ、「行政のチェックなら町内会長で十分」「議員は何をしているのか全く分からない」という、議会そのものの存在を否定するかのような厳しい意見もあったそうです。

勿論、議会の主な役割は、首長の提案について、適切な判断を下すことです。この替否の決定が、市が進むべき方向を左右するものですから、当然に責任が伴います。

議会がこの責任を負うべき対象は、首長ではなく、間違いなく市民の皆様です。昨今の地方議会には、徹底した情報の公開と、議会の決定にあたっての説明責任、加えて、皆様から「全てを任されている」という意識からの脱皮が求められている時代と言えます。

議員も地域経営者としての信託を受けた代表として、しっかりと説明責任を果たすことこそが、最も重要な課題なのです。

そのために、皆様との恒常的な関わり合い、合議体としての議会の役割について、もう一度、自らを見つめ直さなければなりません。

本年も、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

平成30年1月吉日